

趣意書

「ふくこいアジア祭り」は「福よ来い！ふくこい！」との想いを込めて踊る「福踊り」から始まりました。「ふくこいアジア祭り」を通じてたくさんの福が人々に舞い降りて来ますようにとの想いが込められ、2000年に誕生した福岡の新しい祭りです。

今や、老若男女を始め文化や国境の壁を越えて様々な人々が参加でき、感動を分かち合える祭りとして年々認知度は大きくなっています。

また、祭りや踊ることを通じて、アジアの人々との国際交流を広めていきたいと考えています。福岡やアジアの伝統・文化を感動と共に共有し、将来はアジアを代表する祭りとなることを目標としています。

■ 青少年及びこどもの健全育成

地元を受け継がれて来た民謡やお囃子を元に創られた楽曲を使用することが先達の守って来た文化に触れ、理解し、誇りを持つきっかけになります。また自身の文化に誇りを持つことが他の文化を尊重出来ることにつながり、真の国際人としての将来性を高めています。また、稽古を通じて生まれる絆や仲間意識や思いやりによって他者との連帯感、地域社会との繋がりなどの大切さを学び取ることの出来る貴重な体験をもたらしています。

■ 地域活性化と地域間交流

全国各地に多くのチームが存在し、多くの地域からたくさんのチームが「ふくこいアジア祭り」に集まって来ています。また同時に福岡のチームも全国各地の祭りに参加し、人々や文化を始めとする各地域間の交流の輪が広がっています。

■ アジアとの交流

踊りに国境はなく、踊ることを通じてお互いを理解できる新たな交流が生まれています。この交流が広く世界中に広がることを願います。